

平成29年9月4日招集

第9回鏡石町議会定例会

町長説明要旨

本日ここに、第9回鏡石町議会定例会の開会にあたり、町政運営に当たっての所信の一端を申し述べるとともに、提出いたしました議案の概要について、ご説明申し上げます。

議員各位並びに町民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

8月29日午前6時2分、北朝鮮によるミサイル発射情報が、全国瞬時警報システム（J-ALERT）により衛星回線を通じて防災行政無線から伝えられました。今回のミサイル発射情報は、国民保護法に基づき日本の領土・領海の上空を通過するとの判断から、北海道から長野県までの広い地域にミサイル発射と上空通過の情報が発せられたものであり、発射から約14分で北海道の襟裳岬東方に落下いたしました。政府は、「事前に通告もなく勝手に日本上空を通過しており、従来とはまったく違う意味で極めて深刻度が高い」と述べました。町では、今回の発射による被害の情報はなく、今後もこのような事態が予想されることから、情報収集に努め対応方法を確認したところであります。

さて、8月発表の月例経済報告によると、日本経済は6月から継続して「緩やかな回復基調が続いている」とされ、報道でも上場企業の4月から6月期については、7割強の企業で純利益が増加したとされています。特に製造業は、景気が緩やかに回復する欧米などの需要を取り込み、海外需要が業績を押し上げ、今後

も生産は増加傾向が続くと見られています。また、個人消費でも緩やかに持ち直しの動きが見られ、7月の有効求人倍率が5ヶ月連続で改善するなど、雇用・所得環境が改善するなかで、先行きについても改善が期待されています。政府は、東日本大震災からの復興・創生及び平成28年熊本地震からの復旧・復興に取り組むとともに、デフレからの脱却を確実なものとするため、経済再生と財政健全化の双方を実現していくこととしています。

8月3日、第3次安倍第3次改造内閣が発足しました。今回の内閣改造は、19人の閣僚のうち経験者が13人配置され、閣僚らの言動が問題視されたことや、加計学園の問題、東京都議選の敗戦など安倍内閣、自民党に国民の厳しい目が注がれた反省を踏まえ、「反省すべきは反省しながら、新たな気持ちで結果を残すことで国民の信頼を勝ち得たい」と述べられました。今回の内閣改造では、福島の実情を熟知している吉野復興大臣が留任となり、引き続き、その手腕を遺憾なく発揮されることを期待するとともに、福島県復興の要となる経済産業大臣、環境大臣を始めとした関係閣僚には、新たなステージでの福島の復興・創生に力を尽くしていただきたいと思えます。

会津地域への近道となる国道118号鳳坂トンネルの起工式が6月16日、羽鳥湖展望台で開催されました。このトンネルにより、須賀川岩瀬地方と会津、南

会津地域間の連携強化がますます促進されることが期待され、平成34年4月の全線開通を目指して工事が進められます。

2020年の東京五輪・パラリンピックの開幕まで3年となり、7月24日福島県と県内59市町村、スポーツ、商工業、農業の各団体でつくる144団体が「東京2020五輪・パラリンピック復興ふくしま推進会議」を設立しました。総会では会長に内堀知事が選出され、「復興を支えてくれた感謝の思いと福島の現状をオール福島で世界に発信したい」と述べられ、推進会議の重点事業として東京五輪での県産農産物の活用や販路拡大、海外からの誘客などの交流人口の拡大や県産水素エネルギーの研究・普及など、官民の枠を超えて連携することが決定されました。今後、東京2020大会の持つ「発信力」や次代を拓く「推進力」などを県内全域のさまざまな分野に波及させ、復興の加速化や風評払拭、これまでの国内外からの支援に対する感謝の発信が行われることが期待されています。

第99回全国高等学校野球選手権大会は、昨年の栃木県に続き関東の埼玉県「花咲徳栄」（ハナサキトクハナ）の初優勝で幕を閉じました。今年の大会は、通算本塁打数が平成18年の60本を上回る68本を記録し、打撃が投手力を上回る顕著な大会となりました。本県代表の聖光学院は、準優勝となった広陵に敗れ、ベスト8を逃しましたが、選手達の最後まであきらめないプレーは私たちに

熱い感動を与えてくれました。

町における6月定例議会以降の主な出来事では、全国13市町で構成される「全国市町村あやめサミット」が6月17・18日の2日間、第14回鏡石あやめ祭りとタイアップして開催されました。今回は平成14年度に本町で開催されて以来2度目で、あやめ祭りや田んぼアートの見学、関係首長会議では、災害協定の運用状況をテーマとして意見交換が行われました。会議終了後の交流会では、本町の特別純米酒「鏡の雫」など各市町で持ち寄った地酒が振る舞われ、和やかな雰囲気の中で、有意義なサミットとなりました。また、鏡石あやめ祭りは、両日とも天候に恵まれたことから、あやめフライトも搭乗予定を超える大盛況で町内外から多くの来場者で賑わいを見ることができました。

6年目となりました田んぼアート事業については、田植え以降6月13日に一般観覧オープニングセレモニーを開始したところ、昨年より1ヶ月早い8月20日には観覧者数が2万人を突破し、23日には平成24年度の1年目から累計10万人を達成するなど、町内外から多くの方々に観覧をいただき、大変盛況となっております。来場者へのおもてなしとして取り組んでいる田んぼカフェでは、商工会によるキッチンカー「牧場のあーさー号」をはじめ、町内事業者などによる特産品のPRや販売が行われ、好評を博しております。今後も稲刈り体験イベ

ント、昨年から実施している「きらきらアート」など積極的なPRに努め、地域振興につなげて参りたいと思います。

本年水稻の生育状況については、春先の低温と少雨により生育が心配されたところではありますが、気温の持ち直しや降水量の回復、羽鳥用水の取水調整も8月に入り通常通水が行われたことから、順調な生育が続きましたが、8月の長雨と日照不足により、生育不足や病害虫が懸念される所所あります。また、野菜・果樹等の農作物についても、同じく影響が出始めている所所であり、今後の天候回復を期待し、実りある収穫期が迎えられることを願う所所あります。

町制施行55周年記念事業として取り組んでおりますオリジナルナンバープレート作成事業につきましては、町制施行の日である8月1日に交付を開始し、8月下旬までに9枚を交付しております。このナンバープレートのデザインには町の花「あやめ」と町の木「しだれ桜」、そして交通安全のタスキをした「牧場のあーさー♪」がデザインされ、郷土愛の醸成に努めるとともに交通安全を啓発するデザインとなっております。

8月6日には、鏡石ふるさと祭りが開催され、沖縄県北谷町から野国町長さんをはじめ7名の方が観光物産プロモーションとして、北谷町特産品の天然塩やちんすこうなどの販売や観光PRを行いました。また、大道芸や各種イベントによ

り、大変多くの町民で賑わい、町の子供たちが元気に集う一日となりました。

8月10日「道の日」は、道路を美しく維持管理するための啓発活動が全国的に実施されていますが、本町におきましても、鏡石建設業協同組合のご協力をいただき、8年ぶり15回目となるボランティア作業を実施したところであります。夏の時期は、道路脇の雑草対策などの要望も多くなることから、安全対策を優先し、計画的に道路環境の整備に努めて参りたいと考えております。

次に、今年度の主な主要事業の執行状況についてご報告いたします。

はじめに、原子力災害対策関連事業における道路等側溝堆積物撤去・処理事業につきましては、今年度鏡石1区・2区・3区の地域を実施することとし、8月23日の入札により実施業者が決定しましたので、完了に向け適切に実施して参ります。

久来石地区仮置場からの中間貯蔵施設への搬出業務は、8月末から現在まで順調に進んでおり、今月末の完了を目指しております。

農作物や自家消費野菜、学校給食食材等の放射能簡易測定については、これまで継続して検査を行っており、現在まで基準値を超えるものは検出されておられません。今後も引き続き安心・安全な食生活の確保及び本町農産物の測定事業を進めて参ります。

また、移動式ホールボディカウンター車両による放射線内部被爆検査については、各幼稚園及び保育所で564名が検査を受け、全員異常は認められませんでした。

次に第5次総合計画の5つの行政分野別における状況でありますが、

一つめの「町民と力を合わせて、新しい鏡石をつくります」として行財政の改革として取り組んでいる町税等収納率向上対策事業につきましては、収納グループ設置から1年、各税目とも収納率の向上が見られたところであり、今後とも向上に努めたいと考えております。同じく昨年度から本格的に「コンビニ収納業務」が運用され、平成28年度の利用件数では7,463件、税額で約1億1千2百万円がコンビニから納入されました。改めて納税環境の拡大による効果が広がったものと感じております。

町税の課税状況につきましては、4月の軽自動車税で5,675件、5月の固定資産税で5,579件、町県民税の特別徴収分で1,880件、6月の町県民税の普通徴収分で1,719件、7月の国民健康保険税で1,808件、8月の後期高齢者保険料で1,616件と、各税目ともに当初課税が終了しております。

また、3年毎に行われる固定資産の評価替えについては、平成30年度に予定され、土地の評価並びに路線価の設定など、現在調査作業を進めているところであり、土地の評価額算定のための標準宅地57地点の地価下落率と併せて算定し

ているところであります。

社会保障・税番号制度につきましては、現在本格稼働に向け準備作業が進められているところであり、マイナンバーカードの発行状況につきましては、全国で10%弱のところ本町においては8月10日現在、1,073件で9%弱の交付割合となっております。引き続き本制度の本格稼働準備及びカード発行の推進に努めて参ります。

二つめの「心豊かで人を育て、地域文化を大切に作る鏡石をつくります」の分野として、教育・文化・スポーツ・健康づくり事業につきましては、

中学3年生を対象とした土曜学習会については、数学・英語の基礎的な学力の向上を目指して、7月29日から2月10日まで元中学校教師等を講師に迎え、土曜日を活用した学習会を24回開催して参ります。

語学指導助手として1年間活躍していただいた、ジュリアン・ジェファーソン先生の後任としてサンドラ・マッキー先生が8月1日に着任しました。今後は中学校を主に幼稚園及び保育所において、語学指導助手として英語の語学力向上に尽力されることを期待しております。

中学生の「英語体験学習事業」につきましては、昨年に引き続き9月11日に中学1年生全員が天栄村のブリティッシュヒルズにおいて、異文化と語学体験として実施する予定であります。

「鏡石中学校校庭整備事業」の防球ネット設置工事につきましては、工事契約締結に関する議案を6月議会定例会において議決をいただき、現在、12月竣工を目途に順調に工事が進められております。

町制施行55周年記念事業である「文化講演会」につきましては、11月2日須賀川市文化センターにおいて、講師に杉良太郎氏を迎えて開催いたしますが、9月1日から入場整理券の販売を始め、多くの皆様をお迎えして開催できるよう努めて参ります。

鏡石町内を走ることにより、健康づくりを推進し、誰もが気軽に参加できる大会として11月5日に開催する第12回鏡石駅伝・ロードレース大会は、同じく9月1日からエントリーを始めたところであり、町内外から多くの参加者をお迎えできるよう努めて参ります。

次に、町民の健康づくり支援における集団検診については、8月29日から今月10日まで各地区集会所や鳥見山体育館を会場に実施しておりますが、医療機関での個別検診についても9月1日から来年1月31日まで実施することとし、より多くの皆さんが受診しやすい環境づくりに努めているところです。

また、高齢者の栄養改善を目的とした「ハッピーイートプログラム事業」につきましては、管理栄養士や保健師による高齢者宅への訪問指導や栄養教室はもとより、幼稚園・保育所での食育教室にも取り組んでおります。

三つめの「地域で支え合う、人にやさしい鏡石をつくります」につきましては、高齢者福祉の充実として、第8期高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画（平成30年度から平成32年度）の策定作業を進めるとともに、単身世帯等が増加し、支援を必要とする軽度な高齢者が増加する中、多様な生活支援サービスの利用や、社会参加ができるような生活支援体制整備に努めて参ります。

また、今月16日には鳥見山体育館において、75歳以上1,669名の方々をお招きして恒例の「敬老会」を開催し長寿をお祝いいたします。

児童福祉の充実については、子ども・子育て支援事業計画に基づき「つどいの広場」「放課後児童クラブ」「保育所の運営」「認定こども園運営支援」「町立幼稚園の管理運営及び私立幼稚園運営支援」など、総合的な子育て支援策の推進に努めております。

また、町立保育所の民営化については、民営化計画に基づき町社会福祉協議会による完全民営化に向けてスムーズに移管出来るよう、関係者や関係機関と協議を進めて参ります。

障がい者福祉の充実においては、「第4期障がい福祉計画」に基づき、障がい者自立支援事業等のサービスの利用促進並びに相談事業の充実に努めるとともに、鏡石町障がい者計画（平成30年度から平成35年度）及び第5期障がい福祉計画（平成30年度から平成32年度）の策定作業を進めております。

国民健康保険事業については、平成30年度から運営が都道府県単位に広域化

されることから、現在遅滞なく対応できるよう準備を進めております。

昨年度末から今年度初めにかけて、全国で発覚した後期高齢者医療保険料及び国民健康保険税の賦課誤りについては、本町においても国民健康保険で8件、後期高齢で4件の賦課誤りがありました。原因はシステムのプログラム誤りによる算定誤りでありましたが、誤りにつきましては訂正し、納税義務者に個別に対応したところであります。今後は適正かつ公正な賦課業務に努める所存であります。

消費者行政事業につきましては、平成27年度から天栄村と共同で消費者生活相談室を設置し、昨年度の相談件数は9件となっておりますが、近年詐欺事件の多様化が進み不安に思う事例も多くなっておりますので、困ったときの相談先として今後も継続してPRして参りたいと考えております。

四つめの「新しい産業を开花させ、活力あふれる鏡石をつくります」について、本年度の新規事業である農地再生プロジェクト事業については、年々増加している耕作放棄地の有効活用として、なたねとエゴマ栽培による「田んぼで油を採ろう・かがみいし油田計画」の策定を進めております。計画策定に向けて、なたね栽培実証展示ほ場設置事業について予算の確保を図り事業推進に努めて参ります。

農業振興における「元気な産地づくり交付金事業」は、町の主力農産物であるきゅうりの振興策として、パイプハウス及び防虫ネット設置への助成事業が完了

し、さらなる生産拡大が期待され、今後とも引き続き支援を図り、農業経営の安定に努めて参ります。

高久田地区ほ場整備事業については、昨年5月に調査地区申請を行い、本年4月に調査地区の採択を受けたことから、農地整備事業に向けた高久田地区基盤整備調査業務を進めております。

観光振興事業として「鏡石まちの駅設置事業」については、今週改修工事の入札を執行する予定としており、請負業者が決定次第本定例会に工事請負契約締結議案を追加で上程したいと考えております。なお、来年4月以降の開設に向けた運営準備会においては、設置に向けた基本方針の策定と今後の管理運営方針等を協議しているところであります。また、町コミュニティーセンターの外壁及び屋根改修についても、まちの駅の開設と併せて施設の長寿命化を図るため、本定例会に補正予算を計上しておりますのでご審議をよろしくお願いいたします。

鏡石「牧場の朝」オランダ秋祭りは、町制施行55周年とオランダ祭り25周年を記念し、「伝」をテーマに伝統ある祭りを築きあげることがを目的に、鏡石牧場の朝秋祭り実行委員会主催により9月30日の開催が決定し、商工会や関係団体と準備を進めているところであります。本年は、仁井田祭礼花火と同日に開催されることから、鏡石祭礼花火保存会とも連携を進めたイベントが開催されますので、多くの皆さんにご来場いただきたいと思います。

五つめの「快適に暮らせ、住んでみたくなる鏡石、訪ねてみたくなる鏡石をつくります」につきましての、鏡石駅東第1土地区画整理事業については、2区画分の保留地を販売できる状況になりましたので、9月22日までの申し込みを受け付けております。また、第1工区内残地の使用収益が早期に開始できるよう道路築造工事・道路舗装工事などの発注を進めております。

公園施設長寿命化対策支援事業につきましては、町民プールの濾過設備・温水ヒーター・空気調和機の更新をするため、8月9日に改修工事の入札を執行し、施工業者が決定いたしましたので、工事請負契約締結に係る議案について、ご審議のうえ議決賜りますようお願い申し上げます。

次に、水環境の基盤整備である上水道第5次拡張事業について、繰越事業となっていた成田浄水場機械電気設備更新工事は6月末に竣工いたしました。鏡石浄水場建設工事における実施設計業務委託は、浄水施設や薬品施設、配水池等の構造及び規模等について、年内完了に向けて関係機関と協議をしながら進めております。また、JR東北線を横断する配水管の布設工事をはじめ、新浄水場予定地までの導水管・配水管の布設工事に伴う設計の準備を進めております。

駅東第1土地区画整理事業関連では、第一工区内の区画整理事業の進捗に合わせて配水管の布設工事の準備を進めております。

国道4号拡幅関連事業に関しては、支障となる大池地内等の上水道施設の移設について、拡幅事業の進捗にあわせ布設替工事の準備を進めております。

公共下水道整備事業については、駅東第1土地区画整理事業関連として、第一工区の繰越事業及び今年度の管渠築造工事につきましては、竣工に向けて鋭意整備を進めております。

次に、平成28年度決算の概要について申し上げます。

平成28年度予算編成時における国の経済動向については、「景気は一部に弱さも見られるが、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果により、緩やかに回復することが期待される」とされました。政府は「経済財政運営と改革の基本方針 経済再生なくして財政健全化なし」を策定し、地方交付税制度等の改革、行政の効率化と利用者のニーズを踏まえたサービスの両立、更なるIT化と業務改革・公共サービスに関する情報の「見える化」に取り組むとされ、予算編成においては「インセンティブ改革」等歳出改革を反映させ、無駄を排除した厳しい優先順位付けを行うメリハリのついた予算となるとされました。

このような財政環境の中で、我が町においては財源確保に努める一方、徹底したムダをなくす取り組みと、行政が担うべき役割を見直すことによって持続可能な財政構造を構築し、平成33年度を目標とした第5次総合計画の5つの柱を基軸に震災からの復興事業の重点的かつ効率的な執行に努めて参りました。

平成28年度決算は、震災から6年目を迎える年にあたり、原子力災害対策に係る最後の年となりました。一般会計の決算額では、

歳入6,307,970千円(前年比106%)

歳出6,188,318千円(前年比106%)となり、

形式収支で119,652千円、翌年度繰越財源等を差し引いた実質収支は、106,987千円の黒字決算となったところであります。

平成28年度末における普通会計の町債残高につきましては、

5,264,625千円となり、鏡石中学校大規模改修事業債の借入により前年比96,832千円の増額となりました。今後とも起債の抑制や繰り上げ償還による計画的な財政運営に努めて参ります。

また、地方公共団体の財政健全化比率の4指標については、実質公債費比率で10.0%、対前年比2.2ポイントの改善、将来負担比率については、27.3%、対前年比0.1ポイント増となったため計画的な改善を図って参ります。

平成28年度の上水道会計を除く全会計の総決算では、

9,810,511千円(前年比97.9%)の歳入に対して、

9,588,775千円(前年比98.0%)の歳出となり、

実質収支で200,439千円(前年比93.6%)の剰余金を生じ、次年度繰越を行うこととなりました。

なお、上水道事業会計につきましては、給水人口が11,940人(前年度比40人減)、給水契約4,572件(前年度比15件増)、年間給水量は、1,305,694 m^3 で前年度に比べ18,948 m^3 の減少となり、1日平均給

水量は、3,577 m³でした。

収益的収支における収支決算においては、収入決算額で260,818千円、支出決算額213,298千円で、収支差額は47,520千円となり、消費税及び地方消費税資本的収支調整額等を除き、37,986千円が当年度純利益となりました。

次に、今定例会に提出いたしました議案の概要について申し上げます。

認定第3号 平成28年度鏡石町各会計歳入歳出決算認定については、一般会計ほか9つの特別会計並びに上水道事業会計の全11会計について決算の認定をお願いするものであります。

報告第33号は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき報告するものであり、議案第140号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることにつきましては、現委員常松洋子氏が9月30日で任期満了になり退任されることから、後任委員の同意をお願いしたく提案するものであります。議案第141号 固定資産評価審査委員会委員の任命につき同意を求めることにつきましては、現委員吉田悦郎氏、関根英司氏両委員の任期満了に伴う再任をお願いしたく提案するものであります。

議案第142号 特別功労表彰につき同意を求めることにつきましては、町制施行55周年記念式典における特別功労賞表彰候補者につき同意を求めるもの、議案第143号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定

については、育児休業の再取得等を行うことができる特別の事情を追加するための所要の改正を行うものであります。

議案第144号 平成28年度鏡石町上水道事業会計未処分利益剰余金の処分につきましては、決算に伴う剰余金の処分について、地方公営企業法の規定に基づき議会の議決をお願いするものであります。

議案第145号 鏡石町民プール機械設備改修工事請負契約の締結については、請負業者が決定いたしましたので議会の議決をお願いするものであります。

議案第146号 平成29年度鏡石町一般会計補正予算(第2号)につきましては、主な歳入として、普通交付税48,798千円の減額、社会資本整備総合交付金10,006千円、平成28年度繰越金76,987千円の増額、財政調整基金繰入金76,000千円の増額であります。

主な歳出については、財政調整基金積立金38,500千円、町コミュニティセンター外壁・屋根等改修工事費35,000千円、社会資本整備総合交付金事業費17,895千円の増など、総額で129,569千円の増額補正予算であります。

議案第147号 鏡石町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)から議案第149号 鏡石町介護保険特別会計補正予算(第1号)につきましては、前年度繰越金の整理と国等の補助金、給付費負担金等の確定に伴う増額補正で、議案第150号 鏡石町工業団地事業特別会計補正予算(第1号)につきましては、前

年度繰越金の整理であります。議案第151号 鏡石町鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）については、社会資本整備総合交付金の内示に伴う事業費の増及び前年度繰越金による補正、議案第152号 鏡石町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）及び議案第153号 鏡石町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）につきましては、前年度繰越金の整理のための補正予算であり、議案第154号 上水道事業会計補正予算（第1号）につきましては、国道4号拡幅関連水道施設移転補償費の増に伴う補正予算であります。

以上、今定例会にあたりまして、町政運営と、提出いたしました議案の概要についてご説明申し上げます。何とぞよろしくご審議いただき認定、同意、議決を賜りますようお願い申し上げます。